

OKAYA ECHO

岡谷エコーロータリークラブ RI2600 地区諏訪グループ

2025-2026年度 会長 宮坂好史 幹事 宮澤弘樹

●永遠のテーマ **地球のために何かをしたい**

ROTARY CLUB OF OKAYA ECHO WEEKLY

vol. 1480 2025.11.10

卓話『御渡りと気候変動』 八剣神社宮司 宮坂 清様 担当:環境保全委員会

◆会長挨拶

挨拶に先立ちまして今日は冒頭に去る7日に亡くなられた野口行敏会員に対し皆様一緒に黙祷をささげたいと思います。(黙祷)何とも残念なところです。ついこの間まで元気な顔を見せていただけに余りに急で言葉もありません。地域においても建設業界においても最重要な人物を失い、大後喪失感を覚えます。後日お別れの会のご案内があるそうですので改めてお知らせいたします。

さて11月に入り晩秋を迎えている処、もう今年も残す処50日程になります。この時期行楽に出かけたい一方、来る冬に備えて、また来年に向けてやるべきことがあり、何かと忙しい所です。食べる物に関しては私は毎年この時期、備えることが二つあります。一つは柿をもちで干し柿を作ること。我が家の柿の木は、今年は100個程しか実をつけませんでした、それでもほぼ1日かかって柿もぎ、一部さわし、一部皮むきして干した処です。もう一つはお葉漬 野沢菜漬です。昔はこの辺で今頃はお葉を洗う風景が至処で見られたものですが、今は少ない。でも私としてはお葉漬のない冬の食卓は考えられないということで、来週あたり1桶漬ける予定で居ります。これらを準備し終えると何かホッとして安心して冬を迎えられる気がします。

さて本日のゲストは 八剣神社 宮司 宮坂清様です。これから冬に入って、また大変なお役目を担われる訳ですが、後程 卓話の方よろしく願います。担当は環境保全委員会です。

先週の市民新聞の記事に、岡工へのものづくり支援事業で今回支援した電気部のチームが全国高校ロボット競技大会の県大会で3位となつて、全国大会の出場枠を得たということです。エコーの支援金によりロボット機体の軽量化を図つての成果ということで、うれしい限りです。その後全国大会が既に行われた様で、そこでは残念ながら上位には進めなかったようですが、いずれにしても来年1月の岡工ものづくり支援の成果発表を楽しみにしたいと思います。

それから昨日は塩嶺カントリーで刈学秋のコンペだったのですが、藤森学長の行いが悪かった？ あいにくの雨、冷たい秋雨の中でプレーしたのは、年配者の4名だけでした。年寄りの冷水といった処でスコア成績など惨だんたるものでしたが、全員商品をもらえるということで、やって良かったと思っています。

今週末はロータリーの行事がいろいろ重なる処です。土曜日は少年野球大会の支援、そして自然の玉手箱第5回目、日曜日は松本での地区大会です。どうぞ今週もよろしく願います。

◆ゲスト 八剣神社 宮司 宮坂清様

◆小林睦巳会員より

岡谷商工会議所会頭退任の挨拶 (10月31日 2期 6年)



◆11月誕生日祝い



田中輝明・熊澤祥吉・小松市男・宮坂大吾・丸茂仁志 各会員

◆11月結婚記念日祝い

池上和明・高橋政幸・杉田健一 各会員

◆幹事報告

- ・本日例会終了後 第9回理事会開催
- ・11/16地区大会 再度ご案内
- ・ガバナー月信11月号 (回覧)
- ・次週11月17日 地区大会振替休日
- ・11月24日法定休日
- ・11月27日 (木) 3クラブ合同例会 担当:諏訪湖RC 場所:マリオ 点鐘 18:30

◆委員会・同好会報告

《青少年奉仕委員会》

- ・11月15日 少年野球大会 岡谷エコーロータリークラブ

Rotary



2025-2026年度 RIテーマ

よいことの

ために

手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

■岡谷エコーロータリークラブ事務局

〒394-0081 長野県岡谷市長地権現町3-2-45(マリオ内)
TEL/FAX 0266-26-7600 E-mail:ri2600@okaya-echo.jp
http://www.okayaecho-rotary.club

ブ杯 (小学6年生・中学1年生野球大会)
 支援金授与 始球式 場所:岡谷市民球場 8:30

《社会奉仕委員会》

・11月15日(土) 第5回 自然の玉手箱「酪農から学ぶ
 命の尊さと自然体験」集合:川岸小学校 8:00

《国際奉仕委員会》

・ナマステパットラ92号 配布

◆同好会報告

《刈学》



・11月9日(日) 秋の刈学研修会 雨天中 4名プレイ
 1位 小野会員 2位 木下敏彦会員 3位 宮坂好史会員
 4位 田村和己会員

《旅美学・写学》

・新春「大相撲初場所」観戦ツアー 1月16日(金)・
 17日(土) 参加者募集

◆卓話

◆「御渡りと気候変動」 宮坂清 様



《映画》

地球温暖化をテーマにしたグリーンピースジャパン制作の短編映画「御渡り」が2024年2月タイ・バンコクで開催の第4回国際映画祭でグランプリを受賞。気候変動による地球への影響。大干ばつ・森林火災・洪水・氷河崩壊・海面上昇による島の沈没・農作物・生態系の変化、危機。地球はどうなる。

ニューヨークタイムズ・国際気候変動的学会で取り上げられる地球の温暖化。

《御渡りと日本人の自然観》

諏訪湖の自然現象御渡り。諏訪明神の渡った跡と見ていにしえ人は畏怖畏敬の念をもって受け止め、記録に留めた。自然現象を神のなせる業、御渡りは聖地のあり方を象徴する。自然と共に生きる日本人は土・火・光・水を恵みと恐れを抱き大地の変化に敏感。風・雲・芽吹・

巨石・巨木・山・原・池・湖・瀧を聖なるものとみた。
 〈子供のころの諏訪湖〉

柳、葦原の湖岸。親水の湖。御渡りの神秘。氷の音・スケート・氷上漁業。(昭和45年頃)

昭和60年2月3日、父宮司の御渡り拝観式に初参列、翌年から自分が奉仕する指針となる。

《御渡り拝観式》

拝観式用の注連縄を神社の齋田で収穫した葦で年末に纏う。小寒から節分まで諏訪湖観察。早朝、時間の経過につれ変化する自然の姿に感動する。水温・気温・氷の厚さ・風速・しぶき着氷・氷の鳴く音など観察。氷と朝陽に参加者感動。下座・上座の地点の確認、御参会の場所を確認(一之御渡りと佐久之御渡りの交差する所)八剣神社の戻り御神前に拝観奉告祭、古記録・古絵図を参照して豊凶の予測をする。

《御渡りの記録》

当社神幸記(1443~1681)・御渡帳、湖上御渡り注進録(1683~現在)―583年に亘る世界にも稀。三本の御渡りの下座・上座場所。その年の災害や天候、神社や高島藩の特記事項、経済的な記述、自然災害や困ったことなど、必死に命をつないてきた先人の生きた証そのものの記録。

浅間山の火焼(鎮火)―1709年、天明の飢饉・高島藩主の対応・満水(洪水)・雨乞・飛行機が降りたなど。墨書の文字は残る。御渡拝見役、記録は半農半漁村の小和田の先祖、氏子の勤め。

《明けの海》

結氷しない海、御渡が顕われない諏訪湖を「明けの海」という。

1600年までは50年に1度、1950年までは10年に1度の割合で明けの海。1970年以降急激に明けの海が増え、2001年以降は18回と顕著。

夏は暑く、冬は寒い。寒くなれば諏訪湖は結氷し御渡りが顕われる。これが自然の摂理。御渡りの現れたことにより本格的な冬の到来を感じ、春を迎える心構えができる。明けの海に感じる不安。

《百年後の子孫に》

日本人は自然に寄り添って生きている。近年は自然との関りが薄くなっている。令和の今はとても便利な世の中で、食べ物や情報は簡単に手に入る。しかし、人間の絆、人と人との関わり、コミュニティーの形成、伝統文化の継承はスイッチひとつで起こりうるものではない。風土を知ることが大事である。川・湖岸の整備、ゴミ拾いから始めよう。

大自然をよく見る、湖に聞く。先祖が積み重ねてきた伝統文化を見極めどうあるべきか考える。

結氷しない諏訪湖が人間に警鐘を鳴らしている。



◆ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

■ラッキー No.75 内澤伸治会員

■ニコニコBOX 26件 65,000円

■出席報告

会員数 48名 出席 31名 欠席 17名

出席率 64.6% 前々回訂正 61.2%

ニコニコするメッセージをお寄せ下さい

今週のプログラム 11月16日(日) AM9:00

松本 キッセイ文化ホール/地区大会 役員・クラブ奉仕

次週のプログラム 11月27日(日) AM6:30

マリオ/3クラブ合同夜間例会 ホスト:諏訪湖RC